

平成29年3月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成29年3月27日(月) 9時から
2. 会場 : 白杵市役所 白杵庁舎3階 301会議室
3. 出席委員 : 教育委員長 垂井 美千代
教育委員長職務代理者 渡辺 義弘
委員 野上 美智子
委員(欠席) 神田 岳委
教育長 斎藤 克己

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	廣田 誠一	学校教育課長	山田 晃世
社会教育課長	斉藤 隆生	文化・文化財課長	川野 義明
学校給食課長	姫野 敬一		
教育総務課課長代理	荻野 健	学校教育課課長代理	斎藤 正雄
社会教育課総括課長代理	口石 愛		
教育総務課主査	原 絢子	教育総務課主事	姫野 まりな

5. 傍聴人 木村 公治

6. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席委員数の報告を行います。本日の出席委員4名、欠席委員1名で、出席委員が過半数に達しましたので、白杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。

ここで、事前に皆さんにお諮りいたします。本日の委員会について、1名の方から、会議を傍聴したいという申し出があります。この傍聴希望の方は、木村公治さんです。傍聴に関しては、白杵教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも委員長の許可を受ければ傍聴できることになっています。傍聴は許可制ですが、教育委員皆さんの了解があれば、許可するということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員 許可)

それでは、傍聴を許可することに致します。

(傍聴者 入室)

(委員長)

これより白杵市教育委員会、平成29年3月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は本日一日限りといたします。

次に、会議録署名委員に 渡辺委員と野上委員の2名を指名致します。

今回、次第3の協議事項のうち、「報告第2号 専決処分の承認を求めることについて」を非公開としたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、採決を行います。

よろしいですか。

(異議なしの声)

では3分の2以上の賛成がありましたので、公開しないこととします。

2. 教育長報告

(委員長)

次第2の教育長の報告を求めます。

(教育長)

2月28日から先週の23日まで行われた3月定例市議会において、新教育長制度に基づく教育長として再任されましたので、3年間よろしく申し上げます。

早速ですが、3月の報告をしたいと思います。卒業式が多かったと思います。お手元の行事報告で報告をします。

まず、3月1日、臼杵高校の卒業式がありました。卒業生236人ということで、答辞を野球部のキャプテンをされていた那賀さんが行いました。家族のこと等を話しながら、お礼もしっかりして素晴らしいなと思いました。

2日、白寿大学の閉級式がありました。阿部只生さんという99歳の、正に白寿の方が特別表彰ということで表彰を受けられました。非常に永きにわたり、生涯現役に努められ、勉強されており、素晴らしいなと感じました。

4日は皆さんにも出席をお願いしましたが、中学校の卒業式ということで、市内で361人の子どもたちが中学校を卒業しました。私は豊洋中学校が今年で最後ということで11人を送りました。送辞をどうするのかなと思っていましたが、小坂先生が3年間ずっと子どもたちと一緒にいたので、彼女が送辞を述べて、一人ひとりの思い出を語っていただいて、素晴らしい送辞だったと思います。答辞は11人全員が一人ひとり述べて、素晴らしい卒業式でした。

6日は定例校長会がありましたが、最後ということで1年間の振返りをさせていただきました。

7、8日は3月定例市議会の一般質問でした。お手元に一般質問の通告書がありますが、4人の議員からそれぞれ質問がありました。土谷議員は中学校の部活動ということで、週2日の休みが取れているかについて質問がありました。それから、内藤議員は学校の統廃合ということで、2月定例教育委員会で説明した事務局としての案について内容に触れながら話しました。議員からも意見をいただいたので、早急に案をまとめたいという答弁をいたしました。平川議員は、学校のエアコン設置ということで、今年度予算がついておりますが、繰越となるため、来年の夏までには中学校のエアコンを整備したいということをお答えしました。それから、小学校については

学校によって暑いところもありますので状況を確認し整備をしていきたいというような答弁をしました。大戸議員からは、特別支援についての質問がありました。これは昨年、教育民生委員会から意見書をいただきましたが、それについて今どのような状況になっているかについての質問でした。まず、特別支援の支援員のあり方について説明させていただいて、今の状況を説明しました。

9日は臨時教育委員会がありました。夕方の忙しい時間にも関わらず出席をしていただきありがとうございます。人事のことでしたが、協議後、その日に県の方に届けを出しました。

12日は吉丸一昌の像の除幕式が大手門公園でありました。ご覧になったかもしれませんが、香港に住まれている吉野夫妻が、吉丸氏の生き方に感銘されて、像を寄贈されました。公民館にあったロータリークラブから寄贈いただいた歌碑も公園に移して設置しています。

15日は臼杵高校のいきいきプランの発表会がありました。1年生が臼杵のいろいろな分野（教育・観光など）を自分たちで調べて提言していくということをしており、40班から8班が選出され、その発表がありました。1番は医療の関係で提案してくれた班でしたが、パワーポイントを使ってしっかり説明をされていました。中学3年生から1年しか経っていませんが、自分たちの主張がしっかりできており、素晴らしい1年生に育っているなど感じました。

その日、放課後子ども教室の意見交換会がありましたが、間に合わなくて最後のあいさつだけさせていただきました。学校教育課・社会教育課の連携が必要だと感じましたし、その取組みをする必要があるな感じました。学校現場との連携も必要と感じています。

16日は、17日の臨時校長会で辞令の内々示がありましたが、その前の日ということで、異動される管理職と臼杵から転出される管理職に対し、一人ひとりお会いして、考え方等をお話しました。

その夜、フッ化物洗口検討委員会がありました。全部は出席できませんでしたがあいさつをさせていただきました。今 上北小と下北小をモデル校実施していますが、その状況と来年度以降について話をしました。基本的に検討委員会は今年度となっていますが、次年度も続けていくということで話をさせていただきました。

17日、幼稚園の卒園式がありました。私は野津幼稚園の卒園式に出席しましたが、12人の卒園ということで、委員長には臼杵幼稚園の卒園式に出させていただきましたが、9人の卒園ということでした。後ほど説明がありますが、実は臼杵幼稚園の入園予定者が1名ということで、そういったことも含めて新年度、幼稚園のあり方について検討して必要があるなと思います。

19日、豊洋中学校の閉校式でした。皆さん出席していただきありがとうございました。豊洋中学校66年の歴史に幕を閉じました。4347人の卒業生を送り出しました。当日は多くの同窓生や地域の方に出席いただいて、弁当も350食用意していましたが、足りずに急遽おにぎりを準備したということで、非常に多くの人に惜しまれての閉校式だったと思います。

22日は小学校の卒業式ということで市内311人の6年生が卒業しました。私は海辺小の卒業式に出席しました。

23日は議会の最終日でしたが、市職員の内示がありました。教育委員会も何人か異動になりましたので、後ほど、あいさつがあると思いますが、また新しい体制で臨むようになります。

24日臼杵っこガイド・学芸員の認定式がありました。臼杵っこガイドが10期生14名（5年生7人・6年生7人）、学芸員が13人（5年生7人・6年生6人）の認定式でした。今年から始めた学芸員は歴史資料館の床パネルを使ってガイドをします。展示は変更するので、変わらない床パネルの絵図を使ってガイドをしていただきます。臼杵っこガイドと学芸員を両方するので、大変だったろうなと思いますが、13人を認定しました。ちなみに臼杵っこガイド一期生の黒田真紀さんが新採用で教育委員会 文化・文化財課に入るようになりました。この臼杵っこガイドの担当もしてくれるのではないかなと思います。

また明日28日は、人材育成市民連携会議があり、高校の状況等の話があると思います。

31日、辞令交付ということで、文化・文化財課の川野課長、野津幼稚園の柳井教頭が退職ということになります。同日に、教職員の退職者25人の辞令交付があります。今年、退職者が多く、校長3人、教頭4人、一般11人、養護教諭7人が退職されます。

以上で説明を終わります。

(委員長)

教育長の報告が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

以上で、教育長報告を終わります。

3. 議事

(委員長)

これより次第3の協議事項に入ります。報告第2号に入る前に、傍聴者の退席を命じます。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

報告第2号については、以上で終わります。

傍聴人の再入場を許可します。

(傍聴者 再入場)

(委員長)

第10号議案「平成29年度臼杵市学校教育指導方針を定めることについて」説明を求めます。

(学校教育課長)

臼杵市学校教育指導方針の内容については、前回の臨時教育委員会でお渡しした内容になります。

(委員長)

何かご意見がありませんか。

(意見なしの声)

承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(委員長)

では第11号議案「平成29年度臼杵市社会教育基本方針を定めることについて」説明を求めます。

(社会教育課長)

平成29年度臼杵市社会教育基本方針を定めることについて、臼杵市教育長に対する事務委任規則第1条第1号の規定に基づき、議決を求めるものです。

平成29年度社会教育基本方針をご覧ください。社会教育課の方針として、「協育」コーディネーターを活用した協育ネットワークづくりを掲げています。

社会教育・社会体育の方針としまして4点挙げています。1点目は協育コーディネーターを核とした学校、家庭、地域、行政との連携及び推進、2点目は親力向上（家庭教育力向上）への取組の充実、3点目は社会体験を通じて意欲とコミュニケーション力のある「臼杵っこ」の育成、4点目は健康づくりや体力づくりのための「1人1スポーツ」の推進を掲げています。

次に公民館の方針としては3点挙げています。中身については大きく変わっていませんが、重点目標の具体策の中には、地域住民が集う場の環境の整備ということで、臼杵中央公民館・野津中央公民館の大規模改修を挙げさせていただいております。

また、社会人権・同和教育の方針としましては、3点挙げさせていただいております。こちらについても28年度を引き継いで方針を挙げておりますが、戸室台集会所を拠点とした人材育成の中で、昨年度は屋根の改修工事を行ったところですが、部落解放同盟との交渉にもありますが、集会所の維持ということもありましたので29年度は耐震診断を実施したいと考えております。最終的には、A3にまとめているものをご覧ください。

(委員長)

第11号議案については承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(委員長)

第12号議案「教育委員会事務局の人事異動について」説明を求めます。

(教育総務課長)

それでは、第12号議案「教育委員会事務局の人事異動」についてご説明します。平成29年3月31日付及び平成29年4月1日付で人事異動発令を次のとおり行うものです。3月31日付の異動につきましては、退職者ということで、学校教育課長 山田晃世が県教育委員会に戻るということで退職、文化・文化財課長 川野義明が定年退職、野津幼稚園教頭 柳井ひとみが定年退職ということで、3月31日付異動となります。それから4月1日付で教育委員会を出向する職員についてですが、まず、私 廣田が市長特命理事ということで出ます。課長級では、姫野敬一が学校給食課長からおもてなし観光課長へ、総括課長代理級では、口石愛が社会教育課から学校教育課へ異動となります。また、課長代理級では、羽田野和子が臼杵幼稚園から野津幼稚園へ、桑原昇造が教育総務課から財務経営課へ、斎藤正雄が学校教育課から同和人権対策室へ異動となります。その他の職員については、裏面をご覧ください。また、入ってくる職員についてですが、課長級では、都市デザイン課長の甲斐尊が教育総務課長へ、小林一彦が市浜小学校から学校教育課長へ、川野徳明が市民生活推進課から文化・文化財課長へ、安東信二が総務課から学校給食課長へ異動します。また総括課長代理級では、那賀啓史が総務課から社会教育課へ異動となります。その他の職員については、省略をさせていただきますので、裏面をご覧ください。以上で説明を終わります。

(委員長)

教育委員会事務局の人事異動について説明がありました。

それでは第13号議案「臼杵市教育委員会公告式規則の一部改正について」説明を求めます。

(教育総務課長)

第13号議案 臼杵市教育委員会公告式規則の一部改正についてご説明します。公告式規則とは規則等の市民へ周知の仕方について規定しているものです。これまで教育委員会制度については経過措置でしたが、4月1日より教育長と教育委員長が1本化されますので、条文の中の「委員長」を「教育長」に改めようとするものです。

(委員長)

第13号議案については承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(委員長)

第14号議案「臼杵市教育委員会会議規則の一部改正について」説明を求めます。

(教育総務課長)

第14号議案「臼杵市教育委員会会議規則の一部改正について」です。これも同じく、新教育委員会制度に移行するため、条文の整備を行うものです。内容としては「委員長」を「教育長」に改め、「委員長職務代理者」を「教育長があらかじめ指名する教育委員」に改めるものです。以上で説明を終わります。

(委員長)

第14号議案については承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(委員長)

第15号議案「臼杵市教育委員会会議傍聴規則の一部改正について」説明を求めます。

(教育総務課長)

第15号議案「臼杵市教育委員会会議傍聴規則の一部改正についてです。これも同じく新教育委員会制度に移行するための条文の整備を行うものです。「委員長」という名称を「教育長」に改めるものです。

(委員長)

第15号議案については承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(委員長)

第16号議案「臼杵市教育長の執務時間その他の勤務条件を定める規則の廃止について」説明を求めます。

(教育総務課長)

第16号議案「臼杵市教育長の執務時間その他の勤務条件を定める規則の廃止」についてご説明します。これまで教育長は一般職としての取扱いでしたが、新教育委員会制度になり、特別職ということになります。そこで、今まで勤務時間や給与等を定めていた規則の廃止を行うものです。

(委員長)

第16号議案については承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(委員長)

第17号議案「臼杵市教育委員会公印規則の一部改正について」説明を求めます。

(教育総務課長)

第17号議案「臼杵市教育委員会公印規則の一部改正」についてご説明します。これも同じく教育委員長が教育長と兼ねるということになりますので、教育委員会の公印に指定をされておりました「臼杵市教育委員会委員長印」がなくなるとともに、「教育長職務代行者印」も、先ほどの規定に基づきなくなりますので、公印規則の一部改正を行うものです。以上で説明を終わります。

(委員長)

第17号議案については承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(委員長)

第18号議案「臼杵市立学校通学区域設定規則の一部改正について」説明を求めます。

(教育総務課長)

第18号議案「臼杵市立学校通学区域設定規則の一部改正」について説明をします。3月31日をもって、豊洋中学校が廃止され、北中学校に統合されますので、北中学校の通学区域を変更するものです。別表をご覧ください。北中学校の通学区域に「下ノ江小学校区及び佐志生小学校区」を加えるものです。以上で説明を終わります。

(委員長)

第18号議案については承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(委員長)

第19号議案「臼杵市立学校管理規則の一部改正について」説明を求めます。

(教育総務課長)

第19号議案「臼杵市立学校管理規則の一部改正」について説明します。これにつきましても、豊洋中学校が3月31日をもって閉校するため、臼杵市立臼杵学校支援センターの事務の中に今まで連携校として豊洋中学校が含まれておりましたが、それを削るものです。

(委員長)

第19号議案については承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(委員長)

第20号議案「臼杵市立学校処務規定の一部改正について」説明を求めます。

(教育総務課長)

第20号議案「臼杵市立学校処務規定の一部改正」について説明します。学校処務規定は学校の庶務に関わる公印や文書の取扱いについて定めるものです。その中に豊洋中学校という文言がありましたが、閉校に伴い、その文言を削るものです。

(委員長)

第20号議案については承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(委員長)

第21号議案「臼杵市立学校職員の公務旅行における自家用車使用に関する取扱要領の一部改正について」説明を求めます。

(学校教育課長)

第21号議案「臼杵市立学校職員の公務旅行における自家用車使用に関する取扱要領の一部改正」について説明します。簡単に申しますと、教職員の自家用車の登録について、今までは教職員の配偶者、父母又は子どもという規定でありましたが、民法上の親族にまで、対象を拡大するものです。また、自家用車の登録については、500万円以上の搭乗者保険に加入することが条件でしたが、それを削除するものです。2点目については、自家用車の登録の確認をきちんとしていくこと、3点目が県外における自家用車の使用の申請について様式が追加されるものです。以上で説明を終わります。

(委員長)

第21号議案については承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

4. 学力向上について

(委員長)

つづいて、「市内中学校の高校進路状況について」説明をお願いします。

(学校教育課長)

平成29年度高校入試について、臼杵高校、海洋科学高校、市内の状況についてご説明いたします。1ページをご覧ください。臼杵高校、海洋科学高校の今年度の地区別の比率を書いています。臼杵市から、臼杵高校は109名が合格し、割合として54.5%となっています。海洋科学高校は20名が合格し、割合として50%となっています。津久見市からは、臼杵高校に18名が合格し、海洋科学高校に2名が合格しています。また、大分市東部（大在中、坂ノ市中、鶴崎中、神崎中、佐賀関中）からは臼杵高校へ60名が合格し、海洋科学高校へ8名が合格しています。東部以外の大分市からは臼杵高校へ10名が合格し、海洋科学高校へ4名が合格しています。佐伯市からは、臼杵高校へ2名、海洋科学高校へ1名が合格しています。そしてその他の地域から、臼杵高校へ1名、海洋科学高校へ5名が合格しています。

2ページ目をご覧ください。過去3年間及び今年度の臼杵高校への地域別合格者の割合を掲載しています。昨年度臼杵市内から58%でしたが、今年度は54.5%ということで、割合が少し減っています。一方、大分市東部から昨年度19.5%だったところ、今年度は30%と割合が増えております。

3ページ目をご覧ください。まず、臼杵高校の定員が200名、海洋科学高校は定員40名ということでした。まず、推薦入試についてですが、臼杵高校へは11名が受験をし7名が合格しております。海洋科学高校へは1名が受験をし1名が合格しております。次に、1次入試についてですが、臼杵高校は推薦枠の20名を減じた180名の募集人員に対し、最終志願者数は199名という状況でした。臼杵市では、豊洋中5名、北中18名、南中1名、西中34名、東中2

5名、野津中20名の計103名が受験をしまして、これは志願者数の54.5%となりますが、結果は102名が合格し、推薦と合わせ109名が合格しました。これは志願者数の57%ということになっています。次に、海洋科学高校については、40名の募集に対し、最終志願者数は49名ということでした。臼杵市からは、推薦・一般入試合わせ、豊洋中から1名、北中から6名、西中から10名、東中から4名、野津中から2名が受験をし、20名が合格しています。臼杵高校・海洋科学高校とともに、一次入試で募集定員を満たしておりますので、2次入試については実施されませんでした。

次に4ページ目をご覧ください。これが、過去7年間の市内中学校の進路状況となっています。臼杵高校へは平成22年度から30%台の生徒が進学しており、海洋科学高校へはご覧のような形で推移している状況です。

最後にA3の資料をご覧ください。市内それぞれの中学校の3年間の進路状況を掲載しています。公立高校へ今年度289名が進学し、大分高専へは5名が進学しております。また、54名が私立高校へ進学し、県外へは5名が進学しております。さらに、就職やまだ決まっていない者が6名います。以上が今年度の高校入試、進路状況となっています。以上で説明を終わります。

(委員長)

その他、学力に関して委員の皆様何かありませんか。

(野上委員)

野津中の県外へ4名というのは多いような気がします。・・・

(学校教育課長)

県外というのは、熊本工業高校、宮崎商業高校、天理高校、上村学院ということで、部活関係で県外へ進学しております。

(委員長)

これで、学力向上については終わります。

5. 教育予算等について

(委員長)

続いて、教育予算について要望等はございませんか。

(要望等なしの声)

6. その他について

(委員長)

事務局より「臼杵市家庭教育基本方針について」説明をお願いします。

(社会教育課長)

事前にお配りしている内容から少し修正があります。一番大きな基本方針である子育て・親育ちの目標である「家庭・学校・地域がつながって、“生きる力”が身についた子どもを育てながら

“親力”も高める」についてですが、社会教育委員会議の中で、「子どもを育てる親力を高める」という完結した表現よりは、「高めよう」という形でニュアンス的に以前のを少し修正しております。また、めざす子どもの像においても、臼杵市が臼杵っ子のビジョンとして持っているのが、学ぶ力、誠実さ、たくましさを身に着けた子どもということで、学ぶ力のニュアンスを強めるため、(5)自ら学び、夢に向かって頑張れる子どもということで、修正をさせていただいております。また、それに伴い、めざす親の像も修正しております。

また、これらを受けまして、取組みについて、乳幼児期、学童期、思春期の部分も言葉を見直しています。最終的に「ほっとさんの教え」についてもニュアンスを変え修正しております。

家庭学級等における親力向上の中で、特に29年度は家庭教育基本方針の普及・啓発に努めていきたいと考えております。委員の中からも親が変われば、子どもも変わるんじゃないかなという意見もありましたので、こういった部分で取組んでいきたいと思っております。以上です。

(委員長)

何か質問はありませんか。

(野上委員)

教えていただきたいのですが、社会教育における家庭教育の全体に広げていくというのと、ちあぼ一とにおける家庭教育・福祉教育というのはもっと個別と考えたらよいのですか。そこが、どうマッチングしていくのか。こちらが公でこちらが個別というのならわかる気がするのですが、どういう関係性になるのか教えていただけないですか。

(口石社会教育課総括課長代理)

ちあぼ一と社会教育課の連携というところが重要になってくると思っております。今の時点で考えられるのが、社会教育が学びの場ということで「教育」、ちあぼ一とは福祉現場における子育て施策でサービスを提供するということで大きな違いがあると思っておりますが、対象者が同じということで、どうしても子育ての方は子どものサービスを重点的に考えるので、親育ちの部分もクローズアップされて研修などをやっていただいておりますが、その部分で社会教育課との連携が必要だと考えております。この家庭教育基本方針につきましても、ちあぼ一にも事前に見ていただき、意見をいただいております。29年度に関して、4月の最初の保育士会の際に、この説明に入らせていただきたいということを伝えておりますし、読書のまちづくりと一緒に本を中心に入っていくことが可能ではないかという投げかけをしております。その中で親育ちの部分でやっという話を現在、子ども子育て課としております。大きな親育ちの方針や内容を社会教育課が考え、それを子育てのサービスに親育ちの部分で関わっていくということで連携が必要と考えております。

(野上委員)

ありがとうございました。

(委員長)

それでは次に幼児教育方針について説明をお願いします。

(教育総務課長)

公立又は私立、幼稚園、保育園を問わず、小学校に入るまでに身に着けていただきたいことについてその方針を定めていきたいということで、その骨子をまとめております。今日はその説明をさせていただき、良ければ、幼保小連携協議会というのがありますので、そこでご意見をいただきながら、定めていきたいと考えております。その骨子について、安東指導主事より説明をさせていただきます。

(安東指導主事)

私の方から説明させていただきます。皆さまに「小学校就学前に育てたい姿」をお配りしています。「思考する力の芽生え」「対話する力」「すこやかな心と体」ということで、では、5・6歳児で難しい部分もありますので、できるだけひらがなで「かんがえる」「おはなし」「すこやか」と、それぞれ目指す子ども像を5・6歳児なりに書かせていただいております。目指すところは、一人ひとりの子どもたちの「自己肯定感の高まり」を目指しています。その背景としまして、大きく2つあります。2月に小学校学習指導要領案が次期学習指導要領として示されました。その総則の7ページにこのようにあります。「学校段階との接続」というところで(1)にこのようにあります。「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質能力をふまえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら、学びに向かうことが可能となるようにすること」ということで、これは暗にスタートカリキュラムを意味しております。スタートカリキュラムを作るものとするということで、臼杵市については、スタートカリキュラム案は現在あります。では、幼児期の終わりまでに育ててほしい姿というのは幼稚園教育要領の中でも10の姿として位置づけられていますが、では臼杵市の子どもたちの部分でどのような姿なのかという部分についてはこちらとしてもイメージしておく必要がありますので、素案として出させていただきました。これに基づきまして、10月を目標に大きな原案を作成し、幼保小連携協議会を最大限活用しながら、また不可修正を加え、幼児教育プログラムを作りあげていきたいと考えております。以上が大まかな見通しですが、小学校就学前に育てたい姿の達成に向け、このような見通しを持っております。

(委員長)

臼杵市における幼児教育のプログラムが10月を目途に作成されるということですね。

(委員長)

次に、「幼稚園について」説明を求めます。

(教育総務課長)

幼稚園の平成29年度入園応募状況について、説明をいたします。昨年10月3日から今年2月1日まで、平成29年度の園児募集を行いました。応募者は、臼杵幼稚園で5歳児が6名、4歳児が1名、野津幼稚園で5歳児が11名ということでした。今回、臼杵幼稚園の4歳児の応募者が1名だったことから、2月8日、園長、教育総務課、学校教育課で協議をし、一人での幼稚園教育

は不可能であるが、年長との合同であれば、幼稚園教育が可能であるという話となりました。それを受け、2月17日、保護者に状況を説明したところ、これまで5人の子を臼杵幼稚園に通わせたことから、一人でもかまわないので、保育をしてほしいというご意見をいただきました。したがって、4月からは、4歳児の子どもも5歳児の子どもと一緒に保育するという結論になりました。

また、平成29年度の応募状況がこのようなことだったため、平成30年度の臼杵幼稚園の運営が課題となります。募集の要否について考えるとともに、存続の場合、職員の採用が必要となりますので早期の決定をする必要がありますので、ご報告いたします。

(委員長)

来年度の幼稚園の応募状況について説明がありました。何か質問はございませんか。

(質問なしの声)

以上で、次第6その他を終わります。これをもちまして、3月の定例教育委員会を閉会します。お疲れさまでした。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
